

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第3回 ひょうご産官学連携協議会総会 兼
第2回 コンソーシアム担当者連絡会 次第

日 時：2024年3月12日（火）13：00～13：30

場 所：オンライン会議（ZOOM）

ミーティング ID: 871 4745 0871 パスコード: 655118

I. 審議事項

1. 2024年度事業計画・予算（案）について (資料1)
2. 関西国際大学と大学コンソーシアムひょうご神戸との共同設備について (資料2)
3. その他

II. 報告事項

1. 「私立大学等改革総合支援事業（タイプ3プラットフォーム型）」について (資料3)
2. その他

<資料一覧>

資料1-1：2023年度 事業委員会事業計画・予算（案）一覧

資料1-2：2023年度 事業委員会事業計画及び予算（案）

資料2-1：関西国際大学と大学コンソーシアムひょうご神戸との共同利用に関する要綱

資料2-2：関西国際大学神戸山手キャンパスコラボレーションルーム概要

資料3：令和5年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ3PF型）申請結果

参考資料：2023年度事業委員会への改善提案について

2024年度 事業計画・予算(案)一覧

委員会	委員長校	副委員長校	中長期計画Ⅱ期		実施プログラム	達成目標	(単位:千円)				
			柱	課題			コンソ予算	受託事業	委員会予算	合計	
国際交流	兵庫県立大学	神戸市外国語大学	柱2	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進	取組1 兵庫県国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定)	0	9,825	100	9,775
						取組2 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定)	50	0		
学生交流	神戸常盤大学	神戸学院大学	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進	取組1 テーマ型の学生交流プロジェクト「WILL BEプロジェクト」	各年参加者数50名以上	1,010	0	100	1,350
						取組2 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報「学生発信ブランディング」	情報公開数200取組以上	240	0		
教育連携	神戸大学	大手前大学	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供	⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応	取組1 単位互換事業	各年開放科目数 10科目以上	520	0	100	700
						取組2 多様な学修機会の提供	各年プログラム数 5件以上	80	0		
キャリア	関西学院大学	関西福祉大学 甲南女子大学 神戸国際大学	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	① 地域の活性化のための県内企業への就職率の向上(加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)	取組1-1 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プログラム	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上	0	4,633	100	13,124
						取組1-2 「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	0	500			
			取組2 県内企業・団体等の魅力を情報発信	情報公開企業・団体数120社以上	0	0					
			柱2	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援	④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進	取組1-1 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上	1,600	0		
取組1-2 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	0	6,291									
高大連携	関西国際大学	神戸親和女子大学	柱1	地域の活性化に資する人材育成のための連携	② 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	取組1 大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」	各年参加校数 20校以上	200	0	100	600
						取組2 加盟校の魅力を情報発信	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	300	0		
FD・SD	甲南大学	神戸市看護大学	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供	⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進	取組1 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	各年セミナー 5件以上	0	0	100	600
						取組2 FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	各年参加者数 50名以上	500	0		
企画運営	神戸大学	甲南大学	柱3	県内大学の教育・研究の質を高める多角的学びの提供	⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	取組1 リカレント教育の普及促進に向けた取組	各年参加者数 50名以上	0	500	2,000	
						取組2 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	各年10校以上	0	0		
			柱4	県内大学が活性化する大学連携組織としての運営体制の構築	⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	取組1 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充	400	0		
						取組2 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	50	0		
取組1 加盟校が活性化する事業運営体制の整備	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築	1,050	0								
中長期計画Ⅱ期							6,000	21,549	600	28,149	

中長期計画Ⅱ期

柱1

柱2

柱3

柱4

【2024年度 国際交流委員会 事業予算】(案)

委員長校	兵庫県立大学
副委員長校	神戸市外国語大学
委員校 (全:28校) ※2023年度 登録大学	明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
取組1	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
活動指標	各年参加者数500名以上
取組2	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
活動指標	プログラム数10件以上

目的

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
予算額	【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円 * 受託事業収入
	【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	50,000円

期待される効果

- 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。
- 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がるのが期待される。
また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。

【2024年度 国際交流委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			【取組1】		【取組2】			
			兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業		加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業			
			内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	50,000				50,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	9,625,000	JASSO受託事業収入	9,625,000				
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	9,775,000		9,625,000		50,000		100,000
支出	会議費	100,000	会議費	80,000			会議費	20,000
	旅費交通費	140,000	旅費	100,000	旅費交通費	20,000	旅費交通費	20,000
	通信運搬費	70,000	郵便、通信費	50,000			通信運搬費	20,000
	消耗品費	50,000	消耗品費	50,000				
	新聞図書費	10,000	新聞図書費	10,000				
	印刷製本費	30,000			印刷製本費	30,000		
	光熱水料費							
	賃借料	40,000	賃借料	40,000				
	保険料		保険料					
	謝金	1,191,000	諸謝金	1,161,000			謝金	30,000
	租税公課							
	支払手数料	22,000	振込手数料	22,000				
	諸会費							
	委託費	852,000	HP制作費・業務委託	852,000				
	人件費	7,260,000	コーディネーター	7,260,000				
	接待交際費							
	支払支援金							
	雑費	10,000					雑費	10,000
計	9,775,000		9,625,000		50,000		100,000	

収入-支出	0
-------	---

【2024年度 学生交流委員会 事業計画】(案)

委員長校	神戸常盤大学
副委員長校	神戸学院大学
委員校 (全:27校) ※2023年度 登録大学	芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
取組1	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施>WILL BE プロジェクト
達成目標	各年参加者数50名以上
活動指標	参加加盟校数10校以上/年
取組2	<学生発信ブランディング>加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施
達成目標	情報公開数200取組以上
活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上/年

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

・年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

課題③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
予算額	取組1	テーマ型の学生交流プロジェクト 「WILL BEプロジェクト」	1,010,000円
	取組2-1	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	240,000円

期待される効果

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

【取組1】学生が地域・企業との連携・協働を通じた様々な社会貢献活動に、地元企業や自大学以外の学生と一緒に参加することで地域の魅力、または課題を直に感じ、理解を深め、そして解決策を自発的に考える効果が期待できる。

【取組2】参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

【2024年度 学生交流委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2-1				
		WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」		学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	1,350,000		1,010,000		240,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	1,350,000		1,010,000		240,000		100,000
支出	会議費	110,000	交流会・反省会	100,000			会議費	10,000
	旅費交通費	740,000	交通費・昼食費	700,000	交通費・昼食費	30,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	20,000			通信費	10,000	通信費	10,000
	消耗品費	20,000	消耗品	10,000			消耗品	10,000
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	0						
	光熱水料費	0						
	賃借料	0						
	保険料	0						
	謝金	250,000	講師等謝金	50,000	謝金・原稿料等	200,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	30,000					振込手数料	30,000
	諸会費	150,000	ブース等出店料	150,000				
	委託費	30,000					各プログラムHPIに係る予備費	30,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
雑費	0							
計	1,350,000		1,010,000		240,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

【2024年度 教育連携委員会 事業計画】(案)

委員長校	神戸大学
副委員長校	大手前大学
委員校 (全:校) ※2023年度 登録大学	大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計23校

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
取組1	単位互換事業の実施
達成目標	各年開放科目数10科目以上
活動指標	送り出し校数・5校/年
取組2	多様な学修機会の提供
達成目標	各年プログラム数5件以上
活動指標	参加者数50名以上/年

目的

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。

さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
予算額	取組1	単位互換事業	520,000円
	取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

期待される効果

- 単位互換事業の実施
 - 「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。
 - コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。
- 多様な学修機会の提供
 - 加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。
 - 異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

【2024年度 教育連携委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2				
		単位互換事業		多様な学修機会の提供事業		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	700,000		520,000		80,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	700,000		520,000		80,000		100,000
支出	会議費	10,000					検討委員会開催費	10,000
	旅費交通費	10,000					旅費交通費	10,000
	通信運搬費	33,000					郵送料	33,000
	消耗品費	0						
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	140,000	ポスター・チラシ制作費	140,000				
	光熱水料費	0						
	賃借料	0						
	保険料	0						
	謝金	130,000	ポスター・チラシデザイン謝金	80,000	講師等謝金	50,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	4,000					振込手数料	4,000
	諸会費	30,000			eラーニング協議会会費	30,000		
	委託費	333,000	単位互換HP更新費	300,000			各プログラムHPに係る予備費	33,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
支払支援金	0							
雑費	10,000					委員長校・副委員長校連絡調整等	10,000	
計	700,000		520,000		80,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

【2024年度 キャリア委員会 事業計画】(案)

委員長校	関西学院大学
副委員長校	関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学
委員校 (全:21校) ※2023年度 登録大学	芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上
取組1	大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施
達成目標	本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
活動指標	各年参加者数500名以上
取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信
達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
活動指標	企業情報の追加掲載 2種類以上
課題	課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
取組1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施
達成目標	本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上
活動指標	各年参加者数500名以上

目的

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上			
予算額	取組1-1	「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	4,633,000円 (受託事業収入)
	取組1-2	「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	500,000円 (受託事業収入)
	取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	0円
	課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		
	取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	1,600,000円
	取組1-2	「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	6,291,000円 (受託事業収入)

期待される効果

- 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業生の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
- 地域の活性化のためのUJターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
- 各加盟校単独では実施が困難だと思われる、「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。
- 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。

【2024年度 キャリア委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算										委員会 予算		
		①取組1-1		①取組1-2		①取組2		④取組1-1		④取組1-2				
		大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト		「尼崎市」大学生等向け職場体験事業		県内企業・団体等の魅力を情報発信		留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム		外国人留学生採用ワンストップ支援事業				
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	1,700,000						会費収入	1,600,000			会費収入	100,000	
	助成事業収入	0												
	受託事業収入	11,424,000	兵庫県受託事業	4,633,000	尼崎市受託事業	500,000				兵庫県受託事業	6,291,000			
	プログラム収入	0												
	雑収入	0												
	戻入金	0												
	計	13,124,000		4,633,000		500,000		0		1,600,000		6,291,000		100,000
支出	会議費	0												
	旅費交通費	260,000	打合せ交通費	60,000							打合せ交通費	200,000		
	通信運搬費	270,000	チラシ送付費	30,000	HP作成・チラシ送付費	40,000					チラシ送付費	200,000		
	消耗品費	220,000	消耗品費	100,000							消耗品費	120,000		
	新聞図書費	0												
	印刷製本費	400,000	チラシ等印刷費	100,000	チラシ作成費	30,000					チラシ等印刷費	200,000	資料印刷費	70,000
	光熱水料費	0												
	賃借料	938,000	イベント会場費・PCリース	338,000					イベント会場費・PCリース	300,000	イベント会場費・PCリース	300,000		
	保険料	0												
	謝金	490,000	講師謝金	140,000					講師謝金	250,000	講師謝金	100,000		
	租税公課	50,000	収入印紙	10,000							収入印紙	10,000	講師軽食等	30,000
	支払手数料	20,000	振込手数料	10,000							振込手数料	10,000		
	諸会費	45,000	会費	45,000										
	委託費	1,650,000							HP製作費・業務委託費	650,000	専門家派遣	1,000,000		
	人件費	8,781,000	コーディネーター費	3,800,000	委託費	430,000			委託費	400,000	コーディネーター・相談員費	4,151,000		
雑費	0													
計	13,124,000		4,633,000		500,000		0		1,600,000		6,291,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

【2024年度 高大連携委員会 事業計画】(案)

委員長校	関西国際大学
副委員長校	神戸親和大学
委員校 (全:18校) ※2023年度 登録大学	関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」
達成目標	各年参加校数20校以上
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上
取組2	加盟校の魅力を情報発信
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続			
予算額	取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
	取組2	加盟校の魅力を情報発信	300,000円

期待される効果

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施
兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐり多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築が期待できる。

2. 加盟校の魅力を情報発信
高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

【2024年度 高大連携委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
		取組1		取組2			
		大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」		加盟校の魅力を情報発信		内訳	予算額
		内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	600,000		200,000		300,000	100,000
	助成事業収入						
	受託事業収入						
	プログラム収入						
	雑収入						
	戻入金						
	計	600,000		200,000		300,000	100,000
支出	会議費	10,000					お茶代等 10,000
	旅費交通費	30,000	交通費	20,000			旅費交通費 10,000
	通信運搬費	100,000			通信費等	90,000	通信運搬費等 10,000
	消耗品費	15,000	消耗品	5,000			消耗品 10,000
	新聞図書費	10,000					参考図書 10,000
	印刷製本費	35,000			チラシ等	35,000	
	光熱水料費	0					
	賃借料	35,000	会場費	35,000			
	保険料	0					
	謝金	315,000	謝金	140,000	謝金	175,000	
	租税公課	0					
	支払手数料	10,000					振込手数料 10,000
	諸会費	10,000					フォーラム等参加費 10,000
	委託費	30,000					各プログラムHPIに係る予備費 30,000
	人件費	0					
	接待交際費	0					
	支払支援金	0					
雑費	0						
計	600,000		200,000		300,000	100,000	

収入－支出	0
-------	---

【2024年度 FD・SD委員会 事業計画】(案)

委員長校	甲南大学
副委員長校	神戸市看護大学
委員校 (全:24校) ※2023年度 登録大学	芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、神戸薬科大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
達成目標	各年セミナー5件以上
活動指標	参加者数100人以上/年
取組2	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 大学教育等に関する講演会等の開催
達成目標	各年参加者数50名以上
活動指標	開催数:3回以上/年

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題⑥】大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。
以上の体制の構築並びに、必要な取り組みは本委員会にて実施する。

課題⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進			
予算額	取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
	取組2	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	500,000円

期待される効果

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

【2024年度 FD・SD委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2				
		加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開		FD・SD情報交換会、セミナー等の開催		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	600,000			500,000		100,000	
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	600,000	0		500,000		100,000	
支出	会議費	110,000			懇親会	100,000	会議費	10,000
	旅費交通費	90,000			講師等交通費	80,000	旅費交通費	10,000
	通信運搬費	10,000					通信運搬費	10,000
	消耗品費	30,000			消耗品費	20,000	消耗品費	10,000
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	0						
	光熱水料費	0						
	賃借料	105,000			会場費等	80,000	賃借料	25,000
	保険料	0						
	謝金	220,000			講師等謝金	220,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	5,000					振込手数料	5,000
	諸会費	0						
	委託費	30,000					各プログラムHPIに係る予備費	30,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
雑費	0							
計	600,000	0		500,000			100,000	

収入－支出	0
-------	---

【2024年度 企画運営委員会 事業計画】(案)

委員長校	神戸大学
副委員長校	甲南大学
委員校 (全:10校) ※2023年度 登録大学	関西国際大学、関西学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
取組1	リカレント教育の普及促進に向けた取組
達成目標	各年参加者数 50名以上
活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)
取組2	加盟校のリカレント教育に関する情報発信
達成目標	各年10校以上
活動指標	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)
課題	課題⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
取組1	大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築
達成目標	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充
活動指標	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)
取組2	緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築
達成目標	緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築
活動指標	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)
課題	課題⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備
取組1	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進
達成目標	加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築
活動指標	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3.県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4.県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

予算額	課題⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進	
	取組1・2	リカレント教育の普及促進に向けた取組 加盟校のリカレント教育に関する情報発信
取組1・2	課題⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成	
	大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	450,000円
取組1	課題⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備	
	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	1,050,000円

期待される効果

【取組課題⑧】「県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進」

近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。

【取組課題⑨】大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。

【取組課題⑩】県内大学が活性化する事業運営体制の整備

事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学が活性化につながる。

【2024年度 企画運営委員会 事業予算】(案)

(単位:円)

予算		各プログラム 予算						委員会 予算	
		⑧		⑨		⑩			
		県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進		大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成		県内大学が活性化する 事業運営体制の整備			
		内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
収入	会費収入	1,500,000			450,000		1,050,000		
	助成事業収入	0							
	受託事業収入	500,000	兵庫県受託事業	500,000					
	プログラム収入	0							
	雑収入	0							
	戻入金	0							
	計	2,000,000		500,000		450,000		1,050,000	
支出	会議費	0							
	旅費交通費	122,000	交通費	72,000	企業課題解決プログラム交通費	50,000			
	通信運搬費	50,000	通信費等	50,000					
	消耗品費	20,000	文具等	20,000					
	新聞図書費	1,800	参考図書	1,800					
	印刷製本費	800,000					パンフレット等	800,000	
	光熱水料費	0							
	賃借料	370,000	会場費等	20,000	懇親会会場費	350,000			
	保険料	0							
	謝金	230,000	謝金	180,000	リスクマネジメント謝金	50,000			
	租税公課	200	収入印紙	200					
	支払手数料	6,000	振込手数料	6,000					
	諸会費	0							
	委託費	250,000					HPTホームページ改定	250,000	
	人件費	150,000	人件費	150,000					
	接待交際費	0							
支払支援金	0								
雑費	0								
計	2,000,000		500,000		450,000		1,050,000		0

収入-支出	0
-------	---

2024年度 予算

(単位:千円)

区分	2023年度 予算	2024年度 予算(案)	前年計画差	備考
収入				
会費収入	20,437	20,107	-330	注1
特別会費(タイプ5特別分担金)	17,280	19,600	2,320	
受託事業収入	22,511	21,549	-962	注2
共催事業収入	0	0	0	
助成事業収入	0	0	0	
雑収入				
戻入金				
当期収入計	60,228	61,256	1,028	(a)
前期繰越金	44,207	44,224	17	(b)
計	104,435	105,480	1,045	

支出	2023年度			2024年度			前年計画差	備考
	コンソ予算	受託事業等	合計	コンソ予算	受託事業等	合計		
国際交流事業	50	9,625	9,675	50	9,625	9,675	0	注2-1 受託事業 9,625
学生交流事業	1,250	1,000	2,250	1,250		1,250	-1,000	
教育連携事業	600		600	600		600	0	
キャリア事業	1,000	11,386	12,386	1,600	11,424	13,024	638	注2-2,2-3,2-4 受託事業11,424
高大連携事業	500		500	500		500	0	
FD・SD事業	500		500	500		500	0	
企画運営委員会	100	500	600	1,500	500	2,000	1,400	注2-5 受託事業 500
	4,000	22,511	26,511	6,000	21,549	27,549	1,038	
各事業委員会事務局			600			600	0	
事業予算計			27,111			28,149	1,038	
事務局人件費			29,800			29,800	0	委託事業を除く事務局人件費
管理・共通運営費等			3,300			3,300	0	
管理・共通運営費等計			33,100			33,100	0	
当期支出計			60,211			61,249	1,038	(c)
当期収支差額			17			7	-10	(a)-(c)
次期繰越金			44,224			44,231	7	(a)+(b)-(c)
計			104,435			105,480	1,045	

注1 会員数36(29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校)(30法人)

在籍学部学生総数102,324人(2023年5月1日現在 学校基本調査)

賛助会員 企業45社

注 2-1 独立行政法人日本学生支援機構「兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業」

国際交流委員会 9,625(千円)

2-2 兵庫県「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」

キャリア委員会 4,633(千円)

2-3 兵庫県「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」

キャリア委員会 6,291(千円)

2-4 尼崎市「インターンシップ等推進事業」

キャリア委員会 500(千円)

2-5 兵庫県「リカレント教育推進事業」

企画運営委員会 500(千円)

合計

21,549(千円)

関西国際大学と大学コンソーシアムひょうご神戸との共同利用に関する要綱

2024年3月5日

1. 目的

この要綱は、関西国際大学教室等使用規程（以下「使用規程」という。）及び関西国際大学学使用細則（以下「使用細則」という。）に基づいて、関西国際大学（以下「本学」という）と大学コンソーシアムひょうご神戸との本学の施設・設備の共同利用について必要となる事項を定めることを目的とする。

2. 対象

共同利用を可能とする施設・設備は、本学神戸山手キャンパス1号館2階のコラボレーションルーム及び室内に設置されている設備とする。

3. 利用目的と制限

本学と大学コンソーシアムひょうご神戸が共同で催し等を行うことを目的として、前項の施設・設備を利用することができる。また、使用規程第9条に規定されている事項を遵守しなければならない。次の各項に該当する場合、共同利用はできない。

- (1) 公安又は風紀を乱したり、法律に違反したりする恐れのあるとき
- (2) 宗教団体が布教の目的で使用するとき
- (3) 政治目的のために使用するとき
- (4) 喧騒で周囲に迷惑を及ぼす恐れのあるとき
- (5) 施設を他の団体等に又貸しするとき
- (6) その他、本学の指示に従わず、本学が不相当と認めたとき

4. 利用者

第2項に定める施設・設備を共同利用できる者は、以下のとおりとする。

- (1) 本学の教職員、及び学生
- (2) 大学コンソーシアムひょうご神戸に加盟する大学等の教職員、及び学生
- (3) 大学コンソーシアムひょうご神戸事務局メンバー
- (4) その他、学長が適当と認める者

5. 使用料

第3項に定める共同利用の場合のみ、使用細則第4条第2項に基づき、無償とする。

6. 利用日

本学の授業や行事に支障がなく、学長が認める日に共同利用を許可する。

7. 利用時間

第2項に定める施設・設備の利用時間は、原則として、午前9時から午後5時までとする。
ただし、学長が必要と認めるときは、利用時間を延長又は短縮することがある。

8. 共同利用の申請（使用許可手続）

共同利用については、本学社会連携部社会連携課に事前相談の上、利用日の1ヶ月前までに「校舎等施設使用申請書」を本学総務部総務課に提出しなければならない。

9 その他

その他共同利用に際して必要な事項は、学長が定める。

以上

関連規程の抜粋

・ 関西国際大学教室等使用規程 第9条

使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

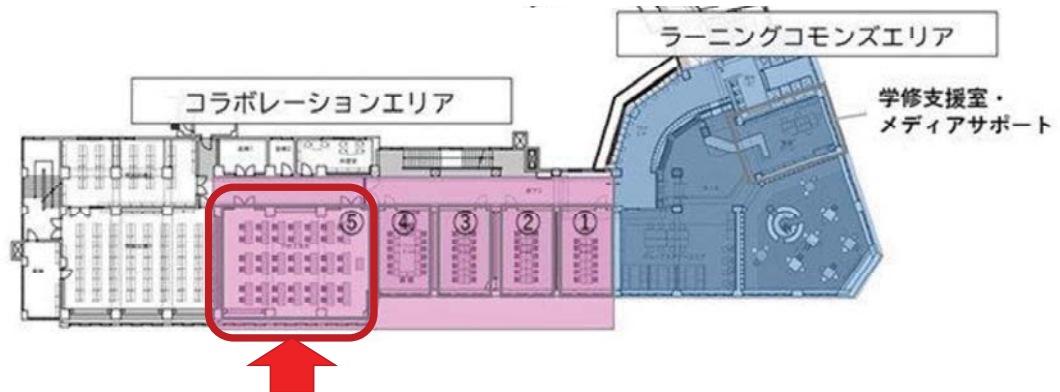
- (1) 教室等内では、使用許可された施設、設備、備品及び器具以外は使用しないこと。
- (2) 火気の使用その他危険物などの特殊な物品を持ち込まないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食をしないこと。
- (4) 所定の場所以外に掲示又は許可なく広告、宣伝等の行為をしないこと。
- (5) 教室等内では、許可なく物品販売又は金品の寄付募集などの行為をしないこと。
- (6) 教室等内の清潔、整頓に留意し、使用後は清掃を行い、原状に復したあと、戸締りを確認すること。

・ 関西国際大学学使用細則 第4条第2項

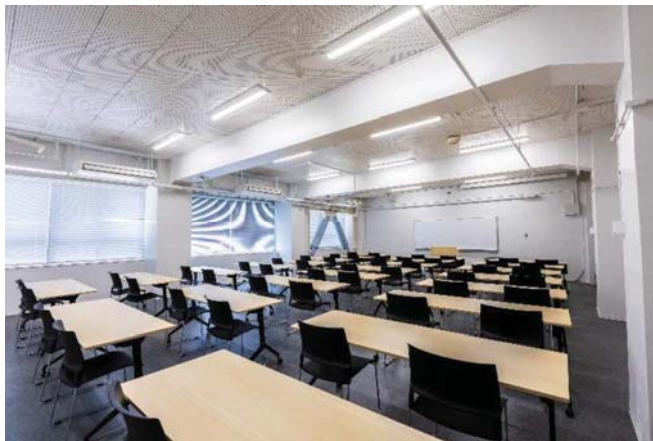
学長が特に認める場合は、使用料金を免除または減額することができる。

関西国際大学 神戸山手キャンパス コラボレーションルーム概要

■住所：神戸市中央区諏訪山長3番1号 関西国際大学 神戸山手キャンパス1号館2階



■コラボレーションルーム



<設備>

机 21台
椅子 42脚
スクリーン
プロジェクター

令和5年度私立大学等改革総合支援事業 タイプ3プラットフォーム型申請結果について

2024年3月12日

私立大学等改革総合支援事業 とは

私立大学等改革総合支援事業

令和5年度予算額
(前年度予算額)

112億円
112億円



事業概要

「Society5.0」の実現に向けた未来を支える人材を育む特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する。

基本スキーム (イメージ)

※ 1校当たりの特別補助交付額：タイプ1, 3, 4は1,000万円程度、タイプ2は2,500万円程度を想定
(各選定校数等により変動。このほか、一般補助における増額措置。)

タイプ1

「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」
105校程度

- 「Society5.0」時代に求められる力を養う、総合知を育む文理横断的な教育プログラムの実施、リベラルアーツ教育の推進等、未来を支える人材育成のための教育機能の強化を促進
- 入学者選抜の充実強化、高等学校教育との連携強化等、高大接続改革への取組を支援

タイプ2

「特色ある高度な研究の展開」
45校程度

- 研究基盤・支援体制の整備や国内外との脳脳循環の促進、他大学や研究機関等との連携による研究の推進など、特色ある研究の高度化・強化に向けた大学等の機能強化を促進

タイプ3

「地域社会の発展への貢献」
165校程度 (20~40グループ単位)

- 地域と連携した教育課程の編成や社会人の受入れ、地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会・産業・文化等の発展に寄与する取組を支援
- 大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた、地域と大学等双方の発展に向けた取組を支援

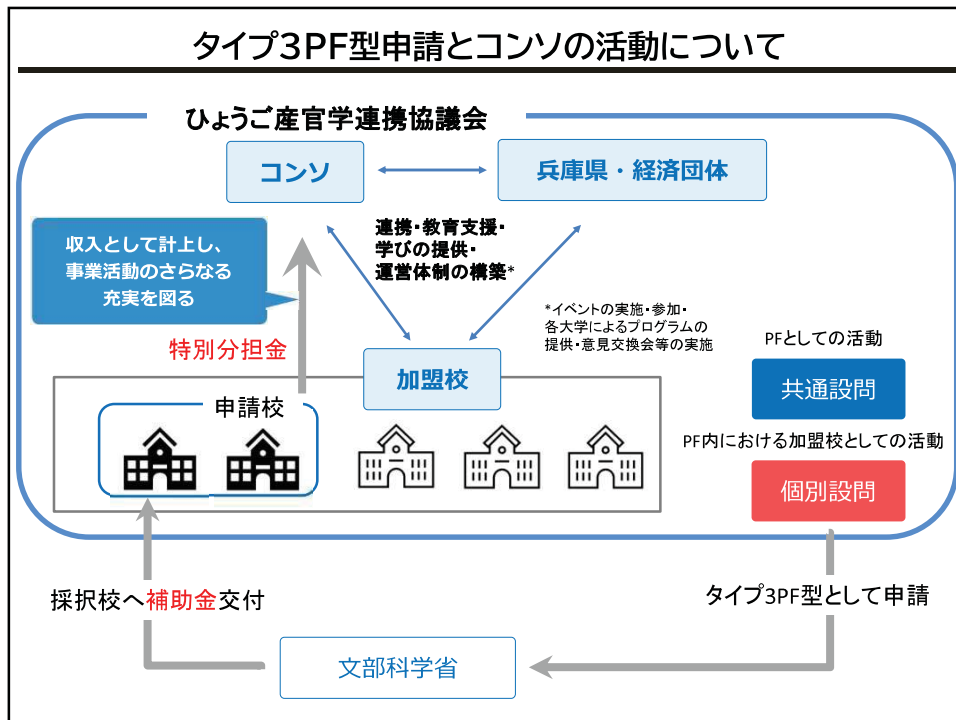
タイプ4

「社会実装の推進」
80校程度

- 産業連携本部の強化や企業との共同研究・受託研究、知的財産・技術の実用化・事業化、産業界と連携した社会実装の推進に向けた取組を支援

令和5年度の全体の申請は、全国の私立大学の約6割にあたる564校が申請
上記交付額+経常費補助金(一般補助、特別補助金)の交付額が増額

タイプ3PF型申請とコンソの活動について



令和5年度私立大学等改革総合支援事業 採択結果

1)タイプ3プラットフォーム型（共通設問23問、53点満点）

採択基準 = 30点(57%)

⇒ひょうご産官学連携協議会 = 46点(87%)

2)個別申請（個別設問22問、50点満点）

採択基準 = 24点(48%)

採択校	大手前大学	神戸学院大学
	関西国際大学	神戸松蔭女子学院大学
	関西学院大学	神戸親和大学
	甲南大学	神戸常盤大学

以上 8校

タイプ3プラットフォーム型採択に伴う特別分担金の拠出について

標記事業の採択に伴い、「中長期計画Ⅱ期」を着実に実施するため、採択校に以下のとおり「特別分担金」の拠出を依頼する。

1. 各申請大学の「特別分担金」金額について
 - ・「特別分担金」は交付額(本事業の採択に係る増額分)の50%の額とするが、今年度より「地域連携型」と「プラットフォーム型」の2つの類型への同時申請が可能となったため、2つの類型に選定された場合の支給額については理事会にて決定し、採択校に請求する。
2. タイプ3プラットフォーム型採択に伴う「特別分担金」の用途について
 - ・今般の特別分担金の用途については改めて理事会で審議する。

以上

【今年度の共通設問点数】46点/53点(87%)

共通設問におけるプラットフォームとしての取り組みと今後の課題

【得点のためのPFとしての取り組み】

項目	求められる要件
大学事務の共同実施	今年度より「実施に向けた検討を複数回行っている」の選択肢が増え、また実施に向け企画運営委員会にて複数回の検討を実施したため+1点 ※大学事務の共同実施とは、大学等の事務の効率もしくは経費削減を目的とした取組で、備品の共同購入(総額500万円以上)又は業務システムの共同開発及び導入のいずれかの取組に該当すること
自治体や産業界等と連携した共同研究の実施	PF参画の地方自治体・産業界×PF参画大学、または複数のPF参画大学間における共同研究の実施だけでなく、今年度より新たにPFの協議の場で、共同研究を活性化させるための議論(共同研究のニーズとシーズに係る意見交換や、現在行っている共同研究の点検・改善等)を行っていることが課せられたこともあり、第4回企画運営委員会にて活性化のための議論を行った
施設・設備の共同利用	得点は昨年度と同じ2点であるが、1つではなく複数の施設・設備の共同利用が課せられたため、昨年度も利用した大手前大学コンテンツセンターに加え、神戸常盤大学1305教室を利用

【今後の課題】

さらなる得点アップを目指すための対応

- 地方自治体の長が定期的に参画する協議体制の構築(+1点)とPF運営そのものに対する金銭的な支援(+2点)
- PF参画の複数の大学等が奨学金制度を設けて、PF参画大学の学生に対して就学を経済的に支援する取組(+1点)
- PF参画の複数の大学等が合同で行う大学説明会もしくは合同で外国人留学生選抜試験を実施する取組(+1点)
- PF参画大学等の間で、大学事務の共同実施(500万円以上の備品の共同購入又は業務システムの共同開発、導入。)(+2点)
- PF参画の複数の大学等での授業科目の共同開講の実施

個別設問における今後の課題

【設問変更にもなう今年度の注意点】

項目	求められる要件	注意点
共同の公開講座への参加	基準時点内に実施した共同の公開講座について、当該大学等が実施に携わっている。	●実施だけでなく当該大学等に教職員が講師を務めることが条件として追加されている 共同の公開講座またはFD・SDにおいて、 当該大学等の教職員が講師を務めていること (他の大学等と共同で講師を務める場合も該当する)。 ※学術的な解説や談話を行う立場にある場合パネリストもこれに含まれる
共同のFD・SDへの参画	共通設問で回答したFD又はSDに、当該大学等の教職員が講師として参加している。	●「複数回の参加」が条件として追加されている 複数の取組の実施に参加した 2点 実施に参加した 1点
地域の教育支援活動への参加	基準時点内に実施した取組について、当該大学等が実施に携わっている。	●実施に参加 イベント実施に関わる委員会に所属しており、なおかつ当日に実際にイベントに参加していること
就職促進の取組への参加	取組について、当該大学等が実施に携わっている。	

【今後の課題】

役員校以外も申請し、採択される仕組みづくりをPFで

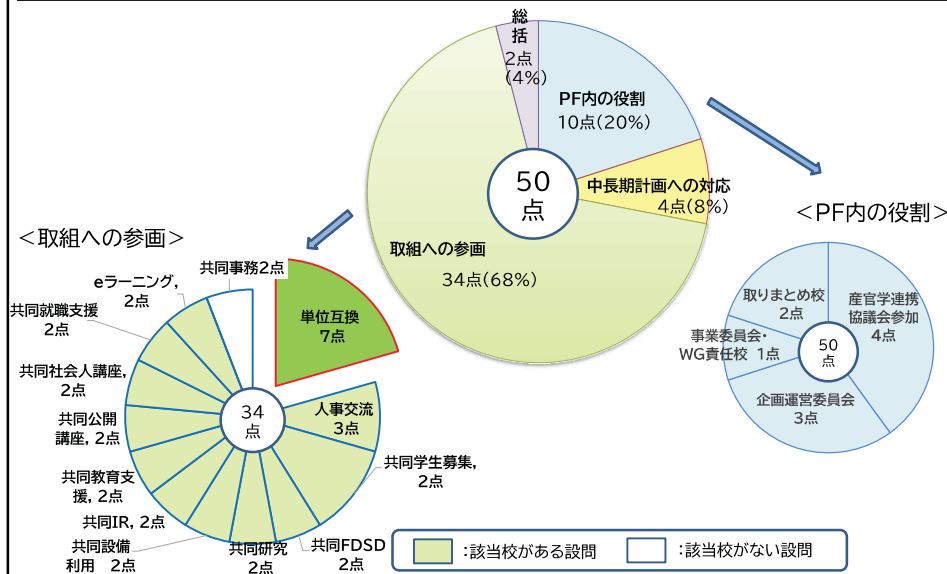
- ひょうご産官学連携協議会にて、各大学の申請担当より自学での実際の取り組み(苦労した点・工夫していることなど)についての情報を共有
- 申請にあたっての説明会開催や個別の訪問等を行うことで、意見交換や情報共有を行い、不安の解消に努める

→申請校・採択校数を増やしていく

タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型個別設問

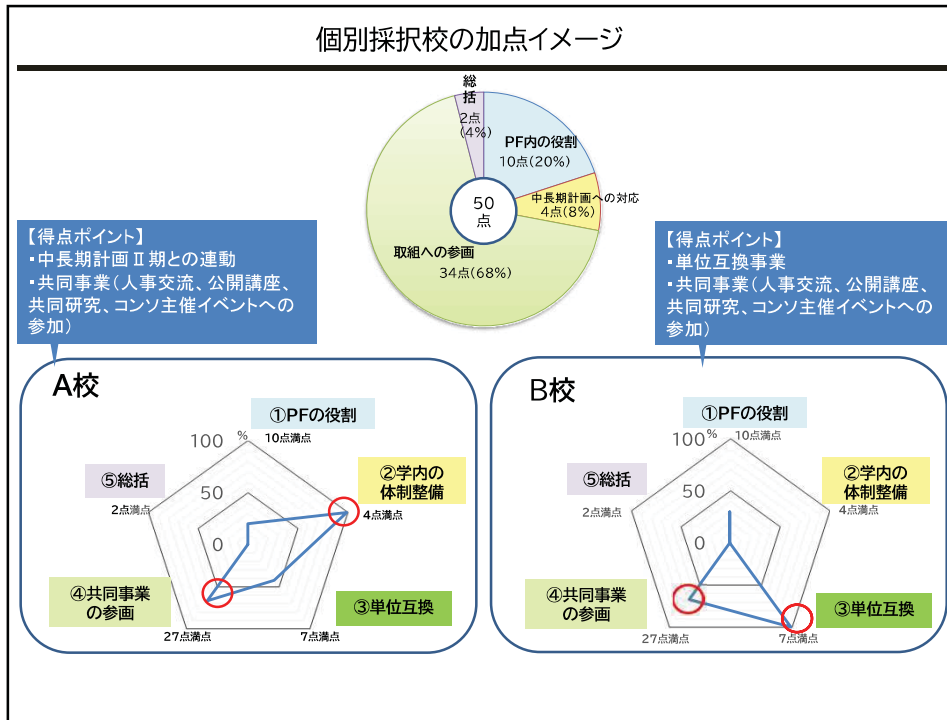
区分	番号	個別設問	配点
① プラットフォーム 内の役割	①	事務局体制における役割	3点
	②	自治体に参加する委員会等への参加	2点
	③	産業界等に参加する委員会等への参加	2点
	④	申請の取りまとめ	2点
	⑤	取組責任者の有無	1点
		小計	10点
② 体制学内の 整備	⑥	大学等の計画へのPFの中長期計画の対応状況	4点
		小計	4点
③ 取組への 参画	⑧	共同研究への参加	2点
	⑧	地域の教育支援活動への参加	2点
	⑨	共同の公開講座への参加	2点
	⑩	キャリア形成プログラム等の企画、参加	2点
	⑪	就職促進の取組への参加	2点
	⑫	共同IRへの参加	2点
	⑬	共同のFD・SDへの参画	2点
	⑭	教職員の人事交流への参加	3点
	⑮	施設・設備の共同利用	2点
	⑯	大学事務の共同実施への参加	2点
	⑰	学生募集活動にかかる取組の実施	4点
	⑱	単位互換等において開講している科目数	3点
	⑲	授業科目の共同開講	2点
	⑳	共通シラバスの作成	2点
	㉑	共通e-ラーニングシステムの導入	2点
		小計	34点
④ 括弧	㉒	過年度との比較	2点
		小計	2点
		合計	50点

タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型個別設問



個別設問は、各校での個別取組の配点が大きい。「単位互換」「共同での取組」「中長期計画との連動」が鍵

個別採択校の加点イメージ

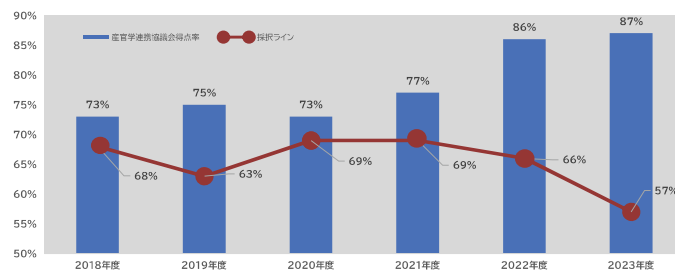


私立大学等改革総合支援事業選定条件および申請状況等

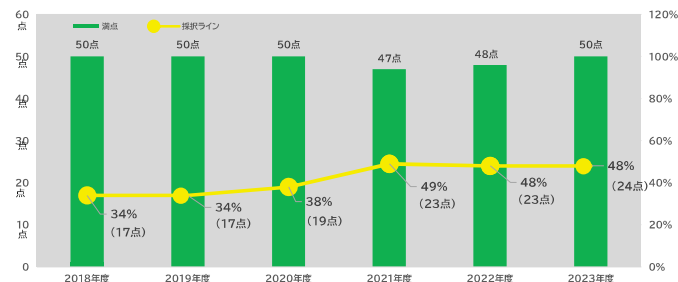
		2017年度 (平成29年)	2018年度 (平成30年)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	
私立大学等改革総合支援事業		176億円	131億円	147億円	114億円	110億円	112億円	112億円	
申請タイプ		タイプ5 都市型	タイプ5 発展型Ⅰ	タイプ3 プラットフォーム型 (都市型)					
共通設問	設問数	27	30	30+4 (加算項目)	34	26	25	23	
	満点	84	74	76	78	70	64	53	
	選定条件	点数	56	50	48	54	48	42	30
		%	67%	68%	63%	69%	69%	66%	57%
	ひょうご産官学連携協議会	ひょうごPF	66	54	57	57	54	55	46
	%	79%	73%	75%	73%	77% UP	86% UP	87% UP	
個別設問	設問数	23	24	22	22	20	21	22	
	満点	54	50	50	50	47	48	50	
	選定条件	点数	—	17	17	19	23	23	24
		%	—	34%	34%	38%	49%	48%	48%
	ひょうご産官学連携協議会	個別申請校	14校	19校	7校	8校	9校	9校	9校
採択校		14校	5校	5校	4校	4校	7校	8校	

タイプ3プラットフォーム型採択ラインと得点推移

<共通設問>



<個別設問>



問合せ先

タイプ3プラットフォーム型の個別申請に関してご興味、ご質問がある際は事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
担当： 山本・足立

〒651-0072
兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8
兵庫県国際交流会館1F
TEL:078-271-0233
E-mail: kanri@consortium-hyogo.jp

2023年度事業委員会への改善提案について

①国際交流委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	4	4	日本学生支援機構（JASSO）受託事業の5年目、兵庫国際交流会館を学生を中心とした地域の国際交流・留学生支援拠点を築くことはできている。引き続き、日本学生支援機構（JASSO）受託事業の採択を目指し、築いた拠点でコンソの精髄を活かし、時代の潮流を鑑み、留学生、学生の成長支援、兵庫県の発展に繋がる事業展開を期待する。また、これまで当事業内でD&I時代の表現力の養成の一環で広報活動を行ってきた企画学生スタッフに、更なる学びのアウトプットの場として、当コンソ全体の広報活動を提供し、より多くの学生、留学生の波及効果を及ぼす表現力・企画力を身に付ける場とすることも期待する。	各年参加者数500名以上	1,163人（2023年10月末時点）	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する 学生の割合： 参加学生の80%以上 （期間中2回測定）	95%以上の国際理解
事業報告②	<加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業> ・学生海外派遣プログラム ・模擬国連演習（JENMUN Japan University English Model United Nations） ・事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	3	4	自学の国際交流プログラムをコンソ加盟校へ開放することで、プログラムの参加者の多様性の拡充に貢献している。引き続き、多くの日本人学生・留學生に国際交流の機会を提供し、グローバル社会で活躍する人材の育成に貢献することに加え、兵庫県全体の留學生の入学、就職を促進するようなプログラムの実施も期待する。	プログラム数10件以上/5年間 （中長期Ⅱ期）	6件（中長期Ⅱ期5年間通算）		97%以上の国際理解

②学生交流委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施> WILL BE プロジェクト・地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動	2	3	地域において、加盟校ならびに行政が有する子育て支援施設や子どもの居場所と連携して、学生が日常生活の延長線上でボランティア活動ができる仕組みができていないことは評価できる。また、外部資金を活用することで、学生の活動交通費等を手当し、学生の経済的事由での負担を軽減できている点も評価できる。今後は、この取組の認知度を高め、活動が活発化することを期待する。	参加加盟校数10校以上/年	6校	各年参加者数50名以上	9名
事業報告②	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施> WILL BE プロジェクト・ウィクトリア姫路 スポーツビジネスコンテスト	3	4	地元企業・協賛企業との連携による本プロジェクトは継続することにより、プログラムの内容も深まり、学生自身の成長や地元企業理解に寄与していることがうかがえる。今後も、地元企業等との連携を図りながら、人材育成プログラムとしての本コンテストを継続することを期待する。		10校		47名
事業報告③	<学生発信ブランディング> 加盟校・学生の地域活性化に關する取組広報の実施	2	3	コンソHP上にて「地域で輝く学生」と題して、学生交流事業「WILL BEプロジェクト」の活動PRに加え、各加盟校の特長ある地域活動を通じて、コンソーシアム全体の認知度を高める取組は重要である。次年度も引き続き、広報活動の活発化に取り組んでいきたい。	各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上/年	2回	情報公開数200取組以上	5取組
事業報告④	<学生発信ブランディング> 大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務	2	3	阪神・淡路大震災を経験したコンソーシアムとして、震災を知らない世代の加盟校学生たちが、兵庫県の公式の防災啓発動画を制作することは貴重な機会であり、意義のある活動であったといえる。今後は機会があれば、震災の記憶の継承ならびに、撲滅する自然災害に備えることができる学生の育成を期待する。	参加団体1団体以上 個人参加20名以上	18名（1団体含む）	参加加盟校数10校以上/年	7校

③教育連携委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	単位互換事業の実施	3	4	コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、学生の生活様式や従来の対面授業中心の授業形態に戻ってきた影響もある中時代の趨勢とともに、コンソーシアムの単位互換事業に対しても、新たな期待が寄せられると思われる。教育的ICT化や共同開講など学生へ多様な学びの機会の提供について引き続き、検討していきたい。	送り出し校数・5校/年	6校	各年開放科目数10科目以上	開放科目数82科目
事業報告②	多様な学修機会の提供	3	3	継続的な加盟校の教育資源の共有と相互連携の取組として、加盟校の公開講座を広く開放し、多様な学生の交流を促進し、学修経験の強化を引き続き図って頂きたい。また、eラーニングシステムについても、引き続き、加盟校全体に周知を行い、加盟校全体のICTを活用した教育資源の向上の相乗効果を行って頂きたい。	参加者数50名以上/年	934名	各年プログラム数5件以上	17件

④キャリア委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	3	4	意見交換会では大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供することで、現在の地域ニーズ等を共有し、現状を踏まえたキャリア支援を学生に行うことで、学生の県内企業理解促進に繋がっていることは評価できる。また、学生においては、県内企業の経営者や若手社員との交流会により、県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することを期待している。 対象者（教職員・学生）のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業委託に向けて準備を進めて頂きたい。	各年参加者数500名以上 （学生：450名以上 教職員：50名以上）	学生：87名・教職員：57名 ※年度未までに目標達成見込み	本プログラムへの参加を通じて 兵庫県内企業理解が深まったことを 実感する学生の割合 ：参加学生の70%以上	兵庫県内企業理解が深まった ：参加学生の88.9%
事業報告②	県内企業・団体等の魅力を情報発信	3	4	掲載企業数は目標を上回って達成している。留學生の採用情報に加えて、今年度は情報の充実を図るため「ミモゲ企業」「地域未来牽引企業」など学生が就職先企業を考える際に役立つ情報を掲載している。引き続き加盟校や県内企業と連携して、協力企業の開拓及び学生に有益な情報の効果的な発信の仕組みの構築について、引き続き取り組んでいきたい。	企業情報の追加掲載、2種類以上	2種類の情報を追加掲載 （2023年11月末時点）	情報公開企業・団体数120社以上	153社の企業・団体情報を掲載 （2023年11月末時点）
事業報告③	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	4	4	当該事業は今年度より、キャリア委員会事業として実施している。 「ひょうご留學生インターンシップ」は、日本での就職を希望する留學生および留學生を採用したい地元企業にとって過去15年間にわたり成果を出してきたプログラムであることから、来期も、大学・企業・コンソの役割分担を整理しながら当プログラムの持続可能な形態を検討し、推進して頂きたい。また、「外国人向け合同企業説明会」は、日本での就職を希望する留學生と地元企業双方が出会える貴重な機会となっており、内定に繋がる成果を出している。来期も加盟校および県内の経済団体や行政機関との連携を深めながら実施して頂きたい。	参加留學生数：500名以上	参加留學生数：855名		日本企業・文化理解が深まった ：参加学生の100%
事業報告④	外国人留學生採用ワンストップ支援事業	4	4	初年度は、コンソの従来の留學生の就職支援をベースに、県内の経済団体や国際交流機関や行政との連携を強化し、支援窓口としての基礎を築くと共に、窓口対応以外にも、個別企業説明会等、留學生と企業がより就職・採用に繋がる支援も開始した。次年度は築いたネットワークを活用して就職実績に繋げることを期待する。	参加者数：50名以上	101名 134社 （2023年10月末時点）		86.9%以上の日本企業文化理解

⑤ 高大連携委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	3	4	県下大学と高校の高大連携に関する課題を共有し、具体的な課題についての意見交換を継続できていることは評価できる。引き続き、高大一貫した教育の提供、人材育成の取組を推進してほしい。	意見交換会等の実施/年1回以上	12/11開催予定 (計画通りに進めば達成予定)	各年参加校数20校以上	12/11開催予定 (計画通りに進めば達成予定)
事業報告②	加盟校の魅力を情報発信	3	4	高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにした点は評価できる。今後は、高校並びに高校生に情報が伝わりやすい仕組みや方法を検討の上、次年度以降も継続していきたい。	大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上	高大連携委員会アンケート実施 (2023年5月19日～26日) に基づき、 ホームページに随時情報掲載	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	年以内に提供予定

⑥ FD・SD委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	4	4	約半年間で活動指標・達成目標ともに達成されており、加盟校にも認知が広がっていることは評価できる。実施内容に関するアンケート結果から、今後も継続的に加盟校のニーズを踏まえたFD・SDへの取組を進めていきたい。	参加者数100人以上/年	1,176名	各年セミナー5件以上	13件 (2023年10月31日現在)
事業報告②	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 大学教育等に関する講演会等の開催	4	4	大学運営に関わるテーマなど、加盟校が共通に抱える課題は、大学単独で行うよりもコンソーシアムで実施する意義があると考えられる。今後も継続して時宜を得たテーマで講演会等を実施していきたい。加えて、加盟校教職員との交流促進も期待する。	開催数：3回以上/年	1回 (2023年9月6日開催)	各年参加者数50名以上	130名 (内加盟校75名)
事業報告③	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催	4	4	認証評価等において、近年内部質保証が重視されている一方で、加盟校においては体制作りから実質化まで、舌巻されている現状があると思われる。単発のセミナー開催にとどまらず、継続的に加盟校に役立つセミナーの開催や共同研修等、教職員間の交流促進を図る仕組みを検討していきたい。		2回 (2024年2月～3月開催予定・ 計画通りに進めば達成予定)		2024年2月～3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)

⑦ 企画運営委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	・リカレント教育の普及促進に向けた取組 ・加盟校のリカレント教育に関する情報発信	4	4	兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育の取組促進がコンソに対して期待されていることから、本取組を継続していることは評価できる。先進事例や課題を共有し、加盟校のリカレント教育の普及に寄与することを期待する。	大学・企業関係者による 講演・意見交換会 (年1回以上)	2024年3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)	・各年参加者数50名以上 ・各年10校以上	2024年3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)
事業報告②	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	4	4	企画運営委員会及び、ひょうご産官学連携協議会等での懇談については次年度以降も定期的に実施し、産官学連携の関係強化、及び事務局体制について意見交換会を行ってほしい。 企業課題解決プログラムに関しては、産学連携を促進し、企業と教育機関との協力関係を構築する機会となり、学生の実践的学びと県内企業理解につながる為、次年度も継続していきたい。 緊急時リスクマネジメント体制の構築は、定期的な見直しと改善を行い、新たな課題や変更に対応できるよう検討を重ねていきたい。	大学・企業関係者による 講演・意見交換会 (年1回以上)	・企画運営委員会 (原則、月1回開催) 9回実施済 年度内計12回実施予定 ・産官学連携協議会：1回実施 ・産業界との意見交換会：2回実施予定 (11月末時点)	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	・企画運営委員会、産官学連携協議会、産業界との協議、意見交換会及び、企業課題解決プログラムの実施による更なる連携拡充 ・「リスクに関する情報連絡会」を開催し、具体的な運用体制についての議論を実施
事業報告③	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	4	4	事務局運営の効率化、プロセスの可視化、情報管理や共有に関しては、継続的な評価と改善を行い、最適な効率化を図る必要があるため、継続して取組みブラッシュアップしていきたい。アンケート等で導き出された「コンソの役割」(①PR・プロモーション ②学内業務の効率化 ③外部資金の調達)については、次年度以降、適宜、企画運営委員会、各事業委員会等で協議し、実施に向けて改善していきたい。	企画運営委員会等における 懇談の実施 (年10回以上)	・企画運営委員会 (原則、月1回開催) 9回実施済 年度内計12回実施予定	加盟校の共通課題に協働して 取り組む事業運営体制の構築	事業運営体制の効率化、 情報管理・共有のための媒体の整備 コンソの役割の明確化

<自己評価基準>

対到達目標：4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った

対継続性：4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき